

山 大 医 学 部 病 院 だ よ り

Yamaguchi University
Faculty of Medicine and Health Sciences

Yamaguchi University Hospital

NEWS



白衣着衣式 挙行

1
2023

VOL.258



山口大学医学部長
篠田 晃

新年明けましておめでとうございます。今年のお正月はいかがお過ごしになりましたか。寒暖差の激しい年末年始でしたが、新年は比較的穏やかな日和であったように感じております。昨年後半あたりから、新型コロナウイルス感染症のパンニック状態からは脱しつつあるとはいえ、年末からまた第8波が来ております。この年末年始にも、附属病院等でお仕事をされていた先生方や医療従事者・関係者が多数おられたかと思いますが、皆様の御苦労と御献身に、心から敬意と感謝を申し上げます。振り返ると結局、令和4年も新型コロナウイルス感染症に振り回された一年だった気がします。まだまだオミクロン株の再拡大兆候も窺われますが、変動を伴いながらも収束に向かうことを期待しつつ、平穩で新たな光差す令和5年となることを願っております。

医学部の教育は、医学科も保健学科も特に高学年では附属病院での実習や学外の病院・施設での実習が主体となり、



山口大学医学部附属病院長
杉野法広

新年明けましておめでとうございます。平成29年から山口大学医学部附属病院・病院長を務めております杉野です。

さて、新型コロナウイルスCOVID-19感染は、第8波に入り、感染者数も減少する気配はありませんので依然と油断ができない状態です。一方で、強い行動制限はありませんので、今年はいかに新型コロナウイルスと共存して日常生活を送るかが課題かもしれません。本院では、COVID対策チーム（YUMECO）が中心となっており、これまで通りの高度医療を提供するために、患者さんが安心して必要な医療を受けられる環境、職員が安全に医療を提供することができる環境を整えています。ウイズコロナ社会においても、県内唯一の特定機能病院として、「最後の砦」としての役割を果たすべく、まさに「チーム山大病院」となり教職員が一丸となって尽力いたします。

山口大学医学部附属病院では、国立大学病院としては初となる2回目の病

いよいよ飛躍の年

患者さんと近接して寄り添う機会も多くなり、コロナ禍で十分な実習が行えないため、一般的なリモート教育に加え、文部科学省は仮想現実（VR）空間内実習を視野に置き、デジタルトランスフォーメーション（DX）の促進に力を入れ始めています。山口大学医学部も「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に採択され、解剖・外科教育のDXコンテンツの開発・導入に着手しております。DXの良さを実装化し、十分活用すべき時代が到来しています。その一方で、医学教育で重要視すべき臨床実習、実践研究や課外活動を介在した絆形成等を考えると、やはり対面教育が基本であることも痛感しております。6年ほど前から山口大学医学部では、外科志向性の強化を図るため、医学科の外科系診療科に協力いただき解剖学実習内に時間をとりながら、2年生から基本臨床外科手技の早期教育を開始しており、好

評を博しています。また、4年前からは卒業医師のリカレント教育として、特に若手医師の手術手技向上と外科手技開発を目指して、献体いただいたご遺体を活用した臨床外科研修（CCS-I）を始めました。昨年度は県内から150名超の若手医師の参加があり、かなりのニーズを実感しているところですが、互いの絆を強化するとともに、将来、数多くの優秀な外科医が輩出されることを願っています。外科医の育成に力を入れていく医学部として益々の信用や評判を獲得できれば、多くの患者さんが来院し、卒業生も率先して山口大学での研修を望み、他県からも多くの優秀な若手医師が集まるのではないかと期待しています。

昨年の「壬寅」は厳しい冬の後に訪れる春の陽気に新たな生命が芽吹き、胎動を感じる年だったようですが、今年の「癸卯」は、「これまでの努力が花開き、実りの始まり、飛躍の年」で縁起が良いそうです。医学・病院関係者にとっても「コロナ禍の終わり」、「新たな時代の始まり、努力の結実の年」になることを期待します。最後になりましたが、今年が、皆様にとって充実感と希望に満ちた輝ける年となり、平穩で健やかに一年を過ごされますことをお祈り申し上げます。

院再開発整備事業を平成27年度から進めています。その主要事業である新病棟（A棟）は令和元年の6月24日に開院しました。令和3年の8月からは、B棟（第1病棟）の改修工事が始まり、現在も続いています。この工事の影響で通路が狭くなっていたり、迷路状態になっており、皆様には大変ご迷惑をおかけしております。B棟の改修は、今年（令和5年）の秋頃に終了する予定ですが、その後もC棟（外来棟）の改修・整備が令和7年まで引き続き行われます。老朽化・脆弱化が改善され、これまで以上に医療の高度化、専門化に対応できるようにいたしますし、患者さんのニーズにもお応えできるようにいたします。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年が皆様にとってすばらしい年になりますようにお祈り申し上げます。今年も山口大学医学部附属病院をよろしく願い申し上げます。



118名が医学生としての決意を新たに

れました。続いて福田会長の祝辞の後、霜仁会から白衣が授与され、4年生118名が一斉に白衣を身に着けました。

その後、学生代表の羽鳥未季子さんが、「医療人となることを志す者としての自覚を高め、頂いた白衣の責任と使命を胸に、日々精進していくことを誓います」と宣誓し、これを受けて、杉野病院長から期待を込めた挨拶があり、学生全員が医学生としての決意を新たに式を終えました。

医学科4年生は、1月から附属病院において指導医のもと臨床実習を行います。

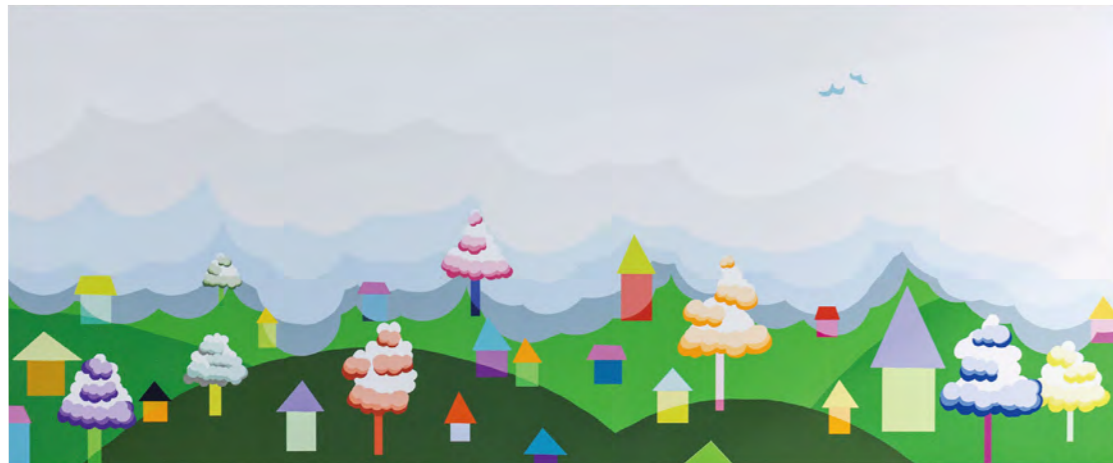
医学部医学科 白衣着衣式 挙行

令和4年12月16日（金）、A棟1階オーデトリウムにおいて、医学部医学科白衣着衣式を挙行しました。

本式典は、臨床実習を前にした4年生に Student Doctor (医学実習生) 認定証と白衣を授与し、医学生としての決意と自覚を促すことを目的に毎年開催しています。福田医学部同窓会霜仁会長、篠田医学部長、杉野医学部附属病院長、田邊医学科長をはじめとする関係者が列席しました。

式では、はじめに篠田医学部長の訓辞があり、田邊医学科長より全国医学部長病院長会議認定の Student Doctor 認定証が学生に授与さ





「もここの山」 教育学部 美術教育選修 3年 稲森 希実

病院に飾るアートということで、絵を観た方に元気になっていただきたい、患者さんやご家族の方々の不安な気持ちを和らげたいと考えました。そこで、雲でできたふわふわの山に、綿あめのようなカラフルな木が生え、かじるとふわっと甘い味がするーというイメージで作品を制作しました。



「わたしのおはなし」 教育学部 美術教育選修 4年 藤井 心

大学の研究で“物語に広がる世界”をテーマに掲げている私は、気持ちが沈んでしまうことがあっても、絵を観ていただくことで一瞬でも他の世界に思いを巡らせ、少しでも気持ちが晴れる作品にできたらと考えました。モチーフにしたのは、イギリスの童話「ジャックと豆の木」です。物語に登場する動物や金色の卵など、細かなギミックを詰め込んだ絵の不思議な世界観を楽しんでいただけると嬉しいです。



「あした、あさって」 教育学部 美術教育選修 4年 左海 莉子

職員の方を含めて病院を利用される皆さんが明るい気持ちになれる、優しい雰囲気のある作品に仕上げたいと考えました。描いたのは、いつもの何気ない場所。小さな花や虫を見つけるなど、ちょっぴり嬉しい気持ちになれる散歩道です。明るい色使いでカラフルに仕上げるとともに、落ち着いた雰囲気のある“まとまり感”を持つ作品にすることを心掛けました。



ホスピタルアートを制作した中野良寿教授(後列左)と教育学部学生のみなさん



山大病院 × 山口大学教育学部 美術教育教室 ART PROJECT

ホスピタルアート展示

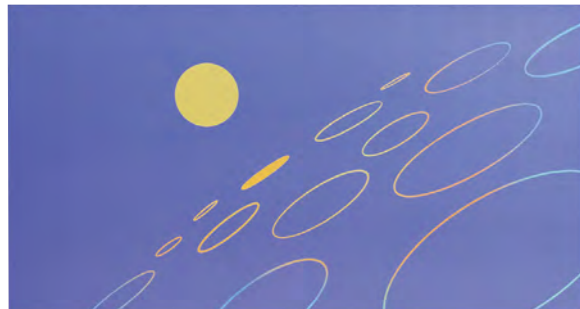
@山大病院

HOSPITAL ART DISPLAY

本院では病院再整備事業のため、B棟(第1病棟)、C棟(外来棟・新中央診療棟)の改修工事を行っています。間仕切り等で患者さんにたいへんご不便をおかけしておりますが、このたび、少しでも心安らぐ空間を提供できるよう教育学部美術教育教室の学生さんとアートプロジェクトに取り組み、院内に多数作品を展示しました。学生さんたちのさまざまな想いが込められた作品を紹介します。



「1日の旅路」 小林 花音
「歩くとき壁の色が変わっていく」がコンセプトの作品です。一日の時間の流れや様々な移り変わりを連続する1枚として、すべての時間があたたかく、たのしく、ワクワクするようなことの連続であって欲しいという思いで描きました。



「宇宙と」 小林 花音
宇宙や惑星をテーマに描いた作品です。夜をイメージしたような目に優しく感じられる色合いで、かつ「これはなんだろう?」と興味を持ち、遠くから見たり近寄りたりして自分の世界を広げてもらえるよう、シンプルに描きました。

山口大学 教育学部生 制作
ホスピタルアート一覧



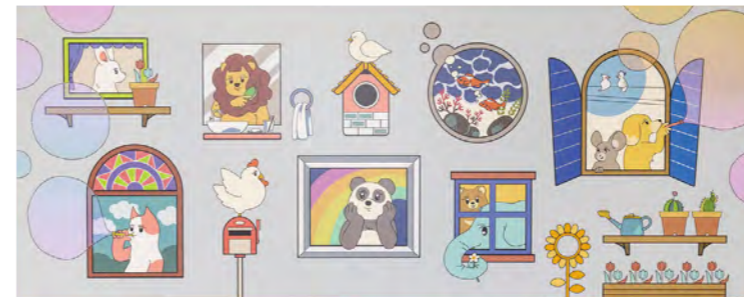
「どんでん上へ」 上村 百合香
上に向かって飛んでいく鳥と、風船の様子が、前向きな気持ちをイメージしました。絵全体をカラフルにすることで、明るい雰囲気を表現しました。



「イルカの親子」 一瀬 更紗
外に出かけることが難しい患者さんが、まるで水族館に行っているかのような気持ちになれるように、イルカの親子の絵を描きました。水中をゆったりと、寄り添いながら泳ぐイルカの親子が患者さんにとっての癒しになってくれればと思います。



「揺蕩うクラゲたち」 一瀬 更紗
イルカの親子と同じように、外出したくてもそれが難しい患者さんのために水族館に行っているかのような気持ちになれるようにクラゲを描きました。さらに、クラゲにはヒーリング効果があると聞いたので、この絵を見て癒しを感じていただけたら嬉しいです。



「同窓会」 油野 史佳
懐かしさと未知の世界への目新しさを感じるデザインを考えました。窓枠から顔を出す動物たちのストーリーにも注目してもらいたいです。



「洗濯日和」 油野 史佳
デパートの中のようなポップさをイメージして配色を決めました。風にあおられている洗濯物からは、風通しの良さや爽やかさを感じます。洗濯物を干すのに適している天気の日、「なにか良いことが起こりそうな日」だと思います。



「尺度」 高森 華音
身体の各部位の長さに自信がある動物たちが集い、蝶々を捕まえようとしている。ゾウの鼻、キリンの首、ウサギの耳では圧倒的にウサギの耳が長さという点において劣っているが、ウサギは、ゾウやキリンにはない素早さや跳躍力を兼ね備えている。長さという一つの尺度に囚われずに自分の強みを生かせるようになってほしいという願いを込めました。



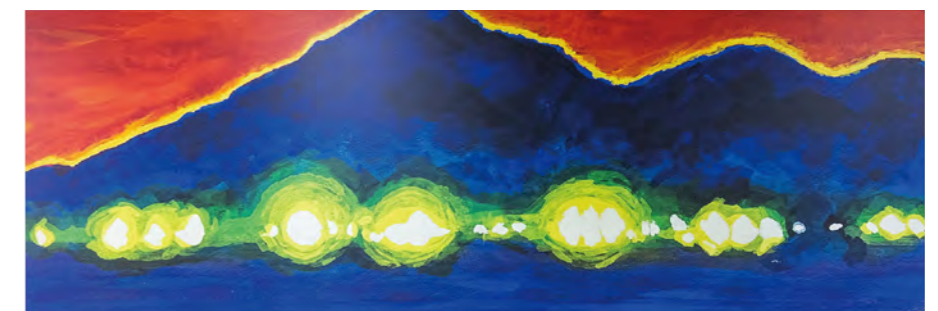
「cantabile(カンタービレ)」 中藤 紗英佳
人の癒しとなるものは、動物と音楽である、と考えています。それらを階段と穴のデザインで表すことで、物語性のあるホスピタルアートを目指しました。また、音楽やそれぞれの動物の思念を表そうと、様々な色と形でデザインしました。表情や色使いについては、見る人の気持ちが明るくなり、ほっこりするような作品を作ろうと考え制作しました。



「ひなげし」 高木 嘉乃
ポピー（ひなげし）の風に揺れる姿を少女のスカートにした1枚です。ピンクと紫のポピーの花言葉は「いたわり」、赤は「感謝」、黄色は「成功」を意味しています。

HOSPITAL ART PROJECT

「山と海」 石川 雄大
山陽小野田市のきららビーチから見える風景を描きました。時間帯は、夕方以降で、海の向こうに見える山は、福岡県の山です。太陽の光や人口の光が綺麗で、心安らぐなと感じたので描きました。



教授（現代美術・絵画） 中野 良寿

再開発整備事業のホスピタルアート検討WGで会議している時、改修工事の壁に絵を飾ってはどうかと声が上がったので、今回のアートプロジェクトがスタートしました。普段は油彩やアクリルを使う学生にとって、ペイントソフトを使ってPCで作品制作するのは新しい試みでした。また、自分の世界観で自分のために表現する作品づくりではなく、病院を訪れた方々に観ていただくための作品づくりに挑戦できたことで、多くの刺激を受けることができたのではないのでしょうか。小さなモニターの中で描く絵を、想像力で大きく引き伸ばす作業に苦労していたようですが、作品は一人ひとりの学生の努力の賜物です。多くの人に観ていただけたらと思います。

山口大学教育学部美術教育選修
卒業制作展2023

■日時：2023年2月9日(木)～2月12日(日)
9:00～17:00
■場所：山口市民会館(入場無料)



美術教育教室



教育学部美術教育選修

病院再整備の詳細はこちらへ

山口大学 再開発

再開発整備事業URL
<http://h-seibi.hosp.yamaguchi-u.ac.jp>



Topic

指導医養成講習会 開催

令和4年9月2日(金)～3日(土)2日間にわたり、ANAクラウンプラザホテル宇部にて、山口大学医学部附属病院指導医養成講習会を開催しました。本講習会は、厚生労働省の指針に基づき、研修医に対する指導に必要な経験及び能力を身につけるために開催するもので、院内から15名、及び当院卒後臨床研修プログラム協力病院から12名の合計27名が受講しました。

講習会では、卒後臨床研修やプライマリ・ケアの指導方法についての認識を共有し、カリキュラム作成とその評価などの効果的な研修を実施するための指導方法を習得することを目的とし、各種講義やグループワークを行いました。

また、卒後臨床研修制度の概要や本学卒後臨床研修の現状等多様な講演も行い、受講者は活発な意見交換を行いました。講習会修了後受講者は、臨床研修指導医として研修医教育に携わります。



Topic

神経解剖学講座 篠田晃教授 / Plenary Lecture 招待講演で表彰

The 8th Congress of Asian Association of Veterinary Anatomist (Asian AVA) in Bangladesh



令和4年10月29日(土)～31日(月)、バングラデシュのチッタゴンで開催されたThe 8th Congress of Asian Association of Veterinary Anatomist (Asian AVA、アジア獣医解剖学会)において、大学院医学系研究科神経解剖学講座の篠田晃教授が「New Horizon in Anatomy」と題してプレナリーレクチャーで招待講演を行い表彰されました。同学会にはアジア各国の獣医解剖学および解剖学に携わる研究者が参加し、研究発表や解剖学教

育に関する学術交流を行いました。篠田教授は、日本における解剖学教育から脳の性分化や神経変性疾患保護作用の研究成果について講演し、多くの興味を持った研究者から活発な質疑応答が行われました。

また、同基礎検査学講座の柳井章江准教授がポスター発表を行い、ポスター発表最優秀賞を受賞しました。



YouTube山口大学病院チャンネル
診療紹介や医療情報を配信中!!



企画発行 | 山口大学医学部広報委員会・山口大学医学部総務課総務係
〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号 TEL 0836-22-2007
医学部 <http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/>
附属病院 <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>